

「ともに、前へ」

～東日本大震災復興支援・祈願チャリティーイベント～

レンヌ仙台七夕まつり 実施報告書



実施期間 : 2011年 7月4日～8日

実施場所 : フランス国 レンヌ市

主催 : レンヌ仙台姉妹都市委員会

協力 : レンヌ市、仙台市、仙台国際交流協会

写真・記事提供 : 河北新報社

協賛 : レンヌ国際会館、ブルターニュ・ジャポン協会、メゾン・ジャポネーズ、
CIREFF、レンヌ日本語補習校、パティスリー・ル・ダニエル、
ブルターニュ・グルメ、レストラン藤、カマラ・ラニョン、他

レンヌ仙台七夕まつり

「ともに前へ」・・・私たちは仙台を忘れない。

【要 旨】

7月4日から8日、仙台市の国際姉妹都市、フランスのレンヌ市において、レンヌ仙台姉妹都市委員会の主催によりレンヌ仙台七夕まつりが開催された（協力：レンヌ市、仙台市、仙台国際交流協会。写真・記事提供：河北新報社）。

レンヌ市での七夕まつりの開催は今回がはじめて。レンヌ市では東日本大震災の直後から義援金募金のための特別口座を開き募金等の活動を積極的に行ってきた。また、この支援の輪はブルターニュ地方全土にわたり震災復興支援の募金活動やチャリティーイベントが各地で行われてきた。仙台市と仙台商工会議所が今年の仙台七夕の開催を決定した際、レンヌ市でも仙台七夕を支援するためのチャリティーイベントができないかと姉妹都市委員会のイニシアティブで企画された。

このレンヌ仙台七夕まつりでは、河北新報社提供の東日本大震災写真展（7月4～8日）、ブルターニュ音楽のデュオ「アモン&マルタン」のチャリティーコンサート（7月5日）、七夕まつり（7月7日）と3つのイベントが企画された。レンヌで集められた願い短冊と応援メッセージ、そして、ブルターニュのラニオン市からも寄せられたメッセージと短冊は仙台七夕の際に飾られるよう仙台に送られた。また、チャリティーイベントの際に集まった募金はレンヌ-仙台姉妹都市委員会を通して仙台市に送られる。

【事業内容および報告】

1. 復興支援チャリティーコンサート デュオ「アモン&マルタン」

7月5日、レンヌ市 ノートルダム教会 （入場無料）

ブルターニュ音楽界を代表するデュオ「アモン&マルタン」。デュオ結成から20年、伝統音楽にベースを置きながらも常に新しいスタイルのブルターニュ音楽を創作する二人。2009年にリリースされたアルバム「sous le tilleul（菩提樹の木の元で）」にその試みが結集されている。今回の復興支援コンサートは仙台支援のためのボランティア公演。姉妹都市委員会会長の挨拶の後、コンサートが始まった。演奏内容は最新アルバム「sous le tilleul（菩提樹の木の元で）」。

ノートルダム教会の荘厳な雰囲気の中でフルートとボンバルド（ブルターニュの伝統楽器）とアコーディオンによる演奏が行われた。演奏の最後に二人は仙台の復興のために息の長い支援が必要だと観客に呼びかけた。



2. 河北新報社提供「東日本大震災写真展」

7月4～8日 レンヌ国際会館 1階ギャラリー (入場無料)

(月～木 14時～18時30、金 14時～18時)

河北新報社から提供いただいた、23枚の写真(報道写真集『巨大津波が襲った3・11大震災発生から10日間 東北の記録』より)および記事10点の展示。想像を超える惨事に人々は無言で写真に見入っていた。



3. レンヌ仙台七夕まつり

7月7日、サンジェルマン広場

- 折鶴・願い短冊作成アトリエ
- チャリティーバザー
- スペクタクル

参加したアーティスト(吹奏楽グループ/プリーズ・ド・ベック、ブルターニュ音楽/フロジェ・メスリス、ダンスとアコーディオン/ピエ・オ・ソル、歌手/セーヴ)は仙台支援のためにボランティア上演。

チャリティーバザーは仏国家最優秀職人賞受賞のパティシエール・ダニエルのマフィン、ブルターニュ・グルメ社のガレット、レストラン藤のほうじ茶。また、ブルターニュのデッサンを仙台に送るプロジェクトからデッサンのチャリティー販売(すべて無償提供)を行った。

7月7日の七夕まつりにはレンヌ市在住の日本人、日本関係のアソシエーション(協会、NPO)のフランス人もボランティアで参加。

午前中はあいにくの雨だったが午後からは青空が広がり、ストリートパフォーマンスのアーティストの上演、着物や浴衣姿で参加したボランティア、スタンドに飾られた七夕の七つ飾り、千羽鶴、折り紙等がサンジェルマン広場の雰囲気をお祭り広場に変えた。



今回のレンヌ仙台七夕まつりは無償公演のアーティスト、無償提供のスポンサー、無償の企画協力者、そしてボランティアの存在なしでは実現できなかった。この場を借りてお礼を申し上げたい。レンヌ市、仙台市、SIRA、河北新報社の協力に心から感謝すると共に、事業の実施を支えてくれた仙台市市民局交流政策課レンヌ市担当の高坂様に感謝申し上げます。

(別紙 参考資料)

レンヌ市市政だよりWEB版記事

http://www.rennes.fr/no-cache/accueil/a-la-une/actualites/les-actualites-de-la-ville-de-rennes/detail-actualite/actualites_detail//2339/86.html

La fête des Tanabatas pour ne pas oublier

Traditionnellement fêtée à Sendai (Japon), elle était célébrée à Rennes ce jeudi 7 juillet avec un petit mois d'avance.

Suite à la catastrophe nucléaire, beaucoup de festivals d'été ont été annulés au Japon. La ville de Sendai (350 km au nord de Tokyo) a tenu à maintenir sa grande fête des étoiles "Tanabata Matsuri" comme symbole d'espoir. Cette fête a lieu traditionnellement au mois d'août. A Rennes, le comité de jumelage Rennes-Sendai a décidé de la célébrer un mois avant pour consolider l'amitié et la solidarité entre les deux villes jumelées.



Photos Christophe Le Dévéhat



Jeudi 7 juillet, le comité de jumelage accueillait le public sur la place Saint-Germain pour l'écriture de messages de vœux qui seront adressés à Sendai. Un atelier d'origami (art japonais du papier plié) a permis de découvrir la légende des 1000 grues. Symbole de longévité au pays du Soleil levant, la grue est un oiseau qu'affectionnent les Japonais. C'est la représentation la plus importante en origami. Une légende voudrait que la grue puisse vivre mille ans et que quiconque plierait mille grues de la plus belle façon qui soit, verrait son vœu le plus fou se réaliser...



Une fanfare, un sonneur de biniou et de bombarde et un spectacle de rue ont essayé patiemment d'attirer les Rennais : étaient-ce le ciel peu clément, cette période de vacances ou le site de Saint-Germain peu fréquenté, mais le public est demeuré épars malgré la gentillesse et la prévenance de nos amis japonais. Celles et ceux présents auront pu tout au moins se réjouir de la chorégraphie de la compagnie Pied en sol inspirée des traditions populaires, associant un couple de danseurs sur des airs d'accordéon.



Jérôme Méar

Photos © Christophe Le Dévéhat / Ville de Rennes

(日本語訳 次頁)

(日本語訳)

「七夕まつり／忘れないために・・・」

仙台の伝統的な祭り仙台七夕まつりが7月7日、仙台よりも一ヶ月早くレンヌ市で開催された。

東日本大震災や原発事故等の影響で日本では多くの夏祭りの開催が取りやめになった中、仙台市（東京から 350 km北）は復興への希望のシンボルとして仙台七夕まつりの開催を決定した。この有名な仙台七夕まつりは8月上旬に開催される。レンヌ仙台姉妹都市委員会は両市の友情と連帯を深めるためにレンヌ市において七夕まつりを開催することを決めた。

7月7日、姉妹都市委員会はサンジェルマン広場にて8月の仙台七夕の際に飾られる願い短冊の作成アトリエを行った。折り紙アトリエでは千羽鶴の伝説に触れることができる。鶴は長寿のシンボルとして古くから日本人に愛されている。折り紙を代表する最も大切なものだ。伝説によると千年の長寿のためとあるが願い事が叶うように祈りを込めながら千羽の鶴を折る大変美しい伝統的な風習だ。

吹奏楽の演奏、ブルターニュ音楽の演奏、ストリートパフォーマンズのアーティストたちが街行くレンヌ市民を惹きつけた。しかし、午前中の強いわか雨等、空は少ししか寛大ではなかった。バカンス中ということもありサンジェルマン広場の人出はいつもより少なめで、思いやりがあり親切な私たちの日本の友人の思いに反して来場者が予想より少なめであったがバザーやアトリエにレンヌ市民や観光客が参加した。これから始まるアコーデオンの演奏と二人のダンサーによるグループ「ピエ・オ・ソル」の上演が私たちを楽しませてくれるだろう。

(レンヌ市広報課 記事ジェローム・メア、写真 クリストフ・ル・デベア)

ウエスト・フランス記事

http://www.rennes.maville.com/actu/actudet_-Une-fete-des-etoiles-pour-ne-pas-oublier-Sendai-a-Rennes_dma-1865503_actu.Htm

Actualité

Dernière minute

19:04 - jeudi 07 juillet 2011

Une fête des étoiles pour ne pas oublier Sendai à Rennes



Fêtée le 7 juillet, dans le calendrier solaire ou le 7 août dans le calendrier lunaire, la fête des étoiles (Tanabata Matsuri) est particulièrement suivie dans la ville de Sendai. Ville dévastée par le tsunami. « **Pour la première fois à Rennes nous avons voulu monter une fête des étoiles pour ne pas oublier Sendai et pour apporter notre soutien et notre solidarité à la population** », explique Marie-Andrée Briand, secrétaire du comité de jumelage Rennes Sendai.

Place Saint-Germain, vente de gâteaux, fanfare, musique celtique, chansons... Chacun était invité à rédiger des messages. Lesquels seront exposés le 7 août à Sendai lors de Tanabata Matsuri.

Ouest-France

(日本語訳次頁)

(日本語訳)

「仙台を忘れないために・・・レンヌで七夕まつり」

太陽暦では7月7日、太陰歴では8月7日の時期に七夕まつりは開催される。津波等、大震災の被害に会った仙台市で開催される8月の仙台七夕まつりは大変有名だ。「今回、始めてレンヌ市で仙台七夕まつりを開催するが、これは仙台市民のみなさんに私たちの支援と連帯の気持ちを届けるために行った。」レンヌ仙台姉妹都市委員会会計担当のマリーアンドレ・ブリアンが説明する。

サンジェルマン広場ではお菓子のチャリティーバザー、吹奏楽やブルターニュ音楽の演奏、歌手のミニコンサートが行われた。来場者は8月の仙台七夕まつりの際に飾られる願い短冊にそれぞれの思いを込めた。

(ウエスト・フランス紙)

(別紙2 写真集)



チャリティーコンサート「デュオ・アモン&マルタン」 7月5日 ノートルダム教会



七夕まつり 7月7日 サンジェルマン広場



河北新報社提供 東日本大震災写真展 7月4～8日 レンヌ国際会館 ギャラリー